



末広

【学校教育目標】

〇すすんで やりぬく子 〇えがおで 元気な子
 〇広い心で やさしい子 〇六年間を 自ら学ぶ子
 《令和3年度の重点》
 ・自分の良さを活かし、支え合いながら
 力を高める子を育む
 ～わたしっていいな！きみってすごい！～

令和3年11月12日発行 特別号 千歳市立末広小学校 TEL：23-4127 FAX：23-4128

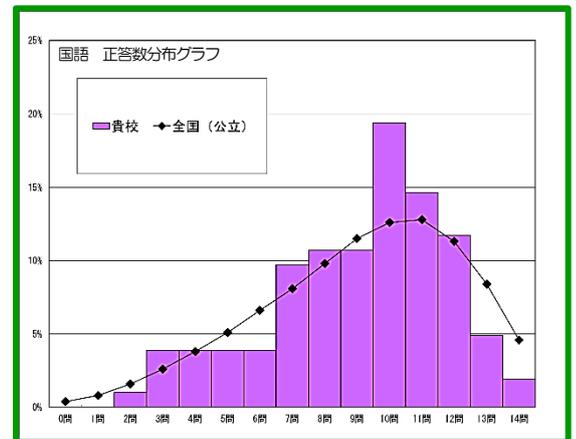
令和3年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果について

保護者・地域の皆様には日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、5月に6年生を対象に実施しました、全国学力・学習状況調査の本校の結果と分析についてお知らせします。この調査は、全国的な児童生徒の学力並びに学習状況を把握し、今後の学習指導に役立てることを目的として行っています。本校もそれを踏まえ、調査結果を学力向上の取組に生かしています。

1. 平均正答率の結果（全国平均の比較で）

	全国平均との比較
国語	同程度
算数	やや上回っている

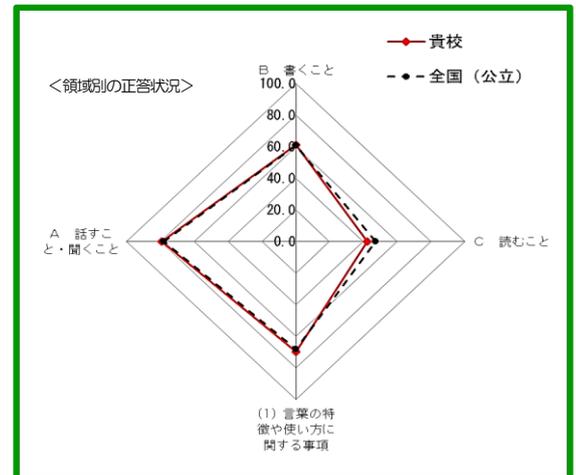


2. 教科ごとの結果・分析（全国平均の比較で）

領域	全国平均との比較
話す・聞く	やや上回っている
書く	同程度
読む	下回っている
言語事項	やや上回っている

国語

問題形式	全国との比較	無解答率
選択式	同程度	0.4%
短答式	上回っている	5.8%
記述式	下回っている	5.8%

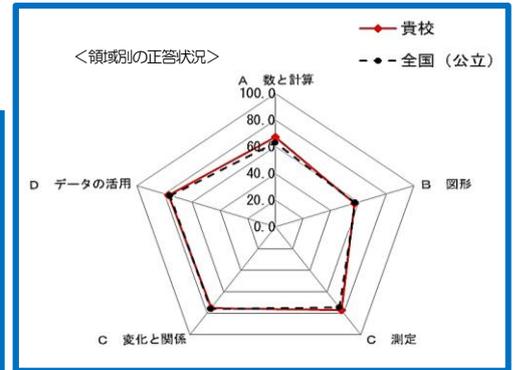
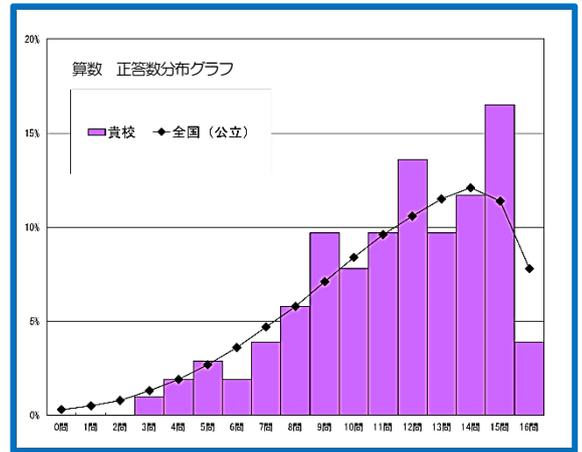


- ★国語全体として・・・全国平均とほぼ同様の結果となりました。
- ★正答数別人数から・・・14問中8問以上正答している児童が約74%で、中～高位が多い傾向にあります。
- ★領域（「話す・聞く」「書く」「読む」「言語事項」）別に見ると・・・
 - ・「話す・聞く」と「言語事項」で全国をやや上回っています。
 - ・「読む」は全国を下回っています。これは、正答率の低い「記述式」の問題が多い（全3問中2問）ことが原因です。目的や意図に応じて要約したり、文章と図表を結び付けて必要な情報を見つけてまとめて書いたりすることを苦手としています。
- ★問題形式で見ると・・・「短答式」が全国を上回っていますが、「記述式」は全国を下回っています。記述して答えることを苦手としています。
- ★無解答率で見ると・・・3つの問題形式とも全国より低かったです。何とかして答えを書こうと努力したことがうかがえます。本校に限ったことではありませんが、「短答式」や「記述式」といった書き表すことを求められる問題に対しては、無解答率が高くなる傾向にあります。

算数

領域	全国平均との比較
数と計算	上回っている
図形	同程度
測定	やや上回っている
変化と関係	同程度
データの活用	やや上回っている

問題形式	全国平均との比較	無解答率
選択式	同程度	0.3%
短答式	やや上回っている	1.3%
記述式	同程度	5.4%



- ★算数全体として・・・ 全国よりもやや高い結果となりました。
- ★正答数別人数から・・・ 14問中8問以上正答している児童が約88%で、中～高位が多い傾向にあります。
- ★領域（「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」）別に見ると・・・
 - ・「数と計算」「測定」「データの活用」が全国を上回っています。
 - ・「図形」と「変化と関係」は全国と同程度ではありますが、全国よりもやや低い結果になりました。「図形」では、「直角三角形の面積の求め方」（短答式）、「二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く」（記述式）の正答率が全国よりも低く、「変化と関係」では、「速さ」の正答率が全国より低い結果となりました。
- ★問題形式で見ると・・・ 「短答式」は全国よりも上回っており、「選択式」と「記述式」は全国と同程度でした。
- ★無解答率で見ると・・・ 3つの問題形式とも全国よりも低かったです。算数でもあきらめずに取り組んだことがうかがえます。「記述式」の無解答率は、国語と同程度で約5%と、他の2つの問題形式よりも高くなっています。

3. 児童質問紙の結果から

- 自分にはよいところがあると思っていると強く思っている子の割合は約80%。全国平均よりも高い。
→●自分にはよいところがあまりない・ないと思っている子は20%。
- 自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている子、人が困っているときに進んで助けている子が90%以上いる。
- 国語の問題で解答を文章で書く問題で、全ての問題で最後まで書こうと努力した子、算数の問題で言葉や数、式を使って、訳や求め方などを書く問題で、全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した子が80%以上いる。
- 8割以上の子が学校に行くのが楽しいと思っている。→●学校に行くのが楽しくないと思っている子が15%いる。
- 朝食を全く食べない子が数名いる。
- 平日、ゲームをする時間は、2時間以上3時間未満が30%。3時間以上している子は25%もいる。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束がない子が10名（10%）。
- 平日に1日当たり2時間以上学習している子の割合は16%（全国が27%）。1時間以上2時間未満が最も多く、59%。
- 休みの日に学習する時間は、平日と同じで1時間以上2時間未満が最も多く、41%。次いで多いのが1時間未満で32%。全くしない子もいる。3時間以上学習する子の割合は全国よりも低い。

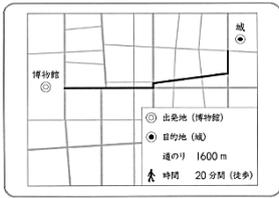


- ・自己有用感は依然として高い傾向にありますが、2割の子は低い状況にあります。今後も「わたっていていな！きみってすごい！」を全校で進めていきます。
- ・学校での活動を楽しみにしており、責任感もち、友達と協力しながら生活していると考えられます。
- ・難しい問題にもあきらめずに取り組もうとしている児童が多くいます。
- ・家庭での学習時間は、1時間から2時間未満の児童が多くいます。休日だと学習する時間が少ない傾向にあります。中学校へ進学するにあたり、休日をうまく活用して学習するようになると、さらに力がついていくと考えられます。
- ・朝食やゲームの時間、携帯電話やコンピュータを使う上での約束などは、家庭の協力が重要なところです。子どもたちが落ち着いて学校生活を送れるよう、家庭と連携をとっていきたいと考えています。

【算数】

(3) たけるさんたちは、博物館の次に城へ行きます。城へ行く前に、博物館から城までの道のりと時間をインターネットで調べました。

1



- 博物館から城までは1600mで、20分かかるようです。
- 私たちが歩く速さと同じくらいの速さなのでしょうが。
- 私たちは、500mを歩くのに7分かかりましたよ。

次の表は、インターネットで調べた道のりと時間と、たけるさんたちが歩いた道のりと時間を表しています。

	道のり (m)	時間 (分)
① インターネット	1600	20
② たけるさんたち	500	7

どちらのほうが速いかを調べるために、下の計算をしました。

- ① インターネット $1600 \div 20 = 80$
- ② たけるさんたち $500 \div 7 = 71.4 \dots$

上の計算からどのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、①のほうが速い。
- 1分間あたりに進む道のりは80mと約71mなので、②のほうが速い。
- 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、①のほうが速い。
- 1mあたりにかかる時間は80分と約71分なので、②のほうが速い。

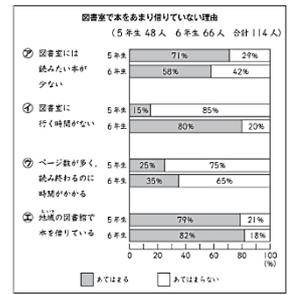
3

(4) 次に、ひよりさんたちは、読書が好きなのに、図書館で本をあまり借りていなかった114人に着目しました。



図書館で本をあまり借りていない理由について、5年生と6年生で、ちがいがあられるのでしょうか。

そこで、114人のアンケート調査の結果を、5年生と6年生に分けて、下のグラフに表しました。



ひよりさんたちは、次のグラフをもとに、気づいたことについて話し合っています。

そうだとあやのさんは、次のグラフの中の①から④までの4つの項目について、「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。

- 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じです。
- 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目があります。

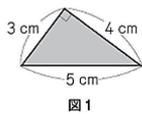
次のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

「速さを求める除法の式と商の意味を理解しているかどうかをみる」問題です。正答率は約53%でした。正答は1でしたが、2を選ぶ子が多くいました。1分間あたりに進む道のりを、数値が小さいほうが速いと捉えていると考えられます。

「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」問題です。5年生と6年生の割合の違いがいちばん大きい項目を選ぶところを、5年生も6年生も割合が高い項目を選んでしまっている誤答が多かったです。正答率は約52%で全国と同様でしたが、無解答率が高い(約8%)問題となりました。

2

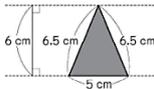
図1のような直角三角形があります。



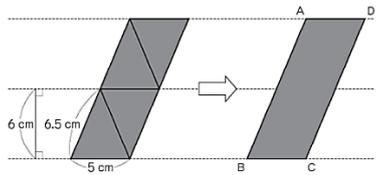
「三角形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる」問題です。正答率は約52%で、全国よりもやや低い結果でした。三角形の面積の公式が理解できておらず、3つの辺の長さを全てかけてしまっている誤答が多かったです。

(1) 図1の直角三角形の面積は何cm²ですか。求める式と答えを書きましょう。

(3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたかがわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何cm²になるのかも書きましょう。

「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題です。正答率は約45%で、全ての問題の中で一番正答率が低い問題でした。平行四辺形の高さを求める式や言葉が書けていない誤答が多かったです。

4

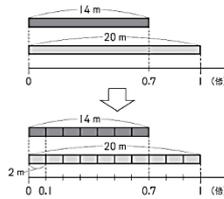
(2) 14mのテープと20mのテープがあります。こはるさんたちは、14mは20mの何割かについて考えています。

- こはる $14 \div 20 = 0.7$ で、0.7倍です。0.7倍というのは、20mを1としたとき、14mが0.7にあたることを表しています。
- れん $20m$ を1としたとき、14mが0.7にあたるのかな。

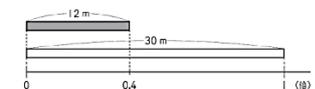
12mのテープと30mのテープもあります。たくみさんたちは、12mは30mの何割かについて考えています。

- たくみ $12 \div 30 = 0.4$ で、0.4倍です。
- さくら $30m$ を1としたとき、12mが0.4にあたるのかな。

れんさんの話を聞いて、ゆうまさんは、20mを1としたときに14mが0.7にあたるわけについて、20mを10等分した1つの長さが0.1にあたることをもとじて考え、下のように図をかくて説明しました。



※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



【ゆうまさんの説明】
20mを1としたとき、0.1にあたる長さは2mです。14mは、2mの7つ分になるので、20mを1としたときの0.7にあたるかな。

「小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」問題です。【ゆうまさんの説明】と同じように書くことができている誤答が多かったです。正答率は約54%でした。無解答率は、全ての問題の中で一番高く、約9%でした。

5. 今後の学力向上に向けて

○学習に向かう基本的な姿勢を育てます

- ・学習ルールやノート指導の一層の定着を図り、学習する意欲を喚起します。

○書き表す力を高めていきます

- ・授業中は、まとめの文章を書いたり、学習の振り返りを書いたりするなど、書き表す経験を積ませます。
- ・水曜日のSタイムを「パワーアップタイム」とし、全校一斉に「視写」に取り組みます。

○算数における基礎的・基本的な学力の定着を図ります

- ・算数の授業では、習熟の時間を充実させることで、繰り返し学習させます。

○無解答をゼロにします

- ・あきらめないで問題に向かおうとする気持ちを育てるとともに、基礎的・基本的な学力を定着させることによってあらゆる問題に対応できる力を育てます。

○家庭との連携を大切にします

- ・家庭と連携し、規則正しい生活習慣づくりに努めます。
- ・家庭学習の充実を図る取り組みを行います。～家庭学習の表彰・「パワーアップウィーク」の取り組み
- ・学力向上通信「パワーアップ」を発行することで、家庭と学校との連携を図ります。